



# 福島県内経済情勢報告

令和6年4月

財務省東北財務局  
福島財務事務所

目次	ページ
1. 総論	1
2. 個人消費	2
3. 生産活動	4
4. 雇用情勢	5
5. 設備投資	6
6. 企業収益	6
7. 企業の景況感	7
8. 住宅建設	8
9. その他項目	9

\*各グラフの下部に記載している計数は、当該項目の状況を分析する上で参考とした期間にかかる前年比、指数、倍率です。

\*掲載されている計数については、年間補正等により改訂されることがありますので、計数をご利用される場合には、公表元の最新の資料をご確認ください。

## 1. 総論

### 【総括判断】 「県内経済は、持ち直しつつある」

項目	前回(6年1月判断)	今回(6年4月判断)	前回比較
総括判断	持ち直しつつある	持ち直しつつある	→

(注)6年4月判断は、前回6年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### (判断の要点)

個人消費は、百貨店・スーパー販売額が前年を上回るなど、緩やかに持ち直している。生産活動は、汎用・生産用・業務用機械が海外経済の減速の影響を受けているなど、一進一退の状況にある。雇用情勢は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

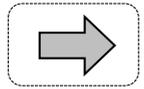
#### 【各項目の判断】

項目	前回(6年1月判断)	今回(6年4月判断)	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
生産活動	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	→
雇用情勢	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	→
設備投資	5年度は減少見込み	5年度は減少見込み	→
企業収益	5年度は増益見込み	5年度は増益見込み	→
企業の景況感	「上昇」超に転じている	「下降」超に転じている	↘
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	↘
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	→

#### 【先行き】

先行きについては、雇用環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直しに向かうことが期待される。ただし、海外経済の動向、物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 個人消費 … 緩やかに持ち直している



- (1) 百貨店・スーパー販売額は、飲食料品が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (2) コンビニエンスストア販売額は、米飯等が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (3) ドラッグストア販売額は、化粧品等が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (4) ホームセンター販売額は、灯油等が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (5) 家電大型専門店販売額は、パソコン等が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)は、受注残の納車が進んでいるものの、一部自動車メーカーの出荷停止の影響により、前年を下回っている。
- (7) 旅行は、国内が好調となっているほか、海外に動きがみられることなどから、持ち直している。

### ～ 〈参考〉 個人消費に関する地域の声 ～

○飲食料品は値上げを行っているものの、生活必需品であることから、需要の落ち込みはみられず、節分には恵方巻が好調となるなど、ハレの日の豪華な食事を楽しむ様子もみられる。

○今冬は気温が高く推移したことから、コートの売上げが低調となったことに加え、春先は気温の低い日が続いたことから、春物の衣料品の売上げが伸び悩んだ。

(百貨店・スーパー)

○外出機会の増加により、手軽に食べられるおにぎりやパンが好調となっている。

○酒類等は、より安価な販売店で購入している様子が見られ、低調となっている。

(コンビニエンスストア)

○化粧品は、需要が高いことに加え、売場を拡充していることから、売上げが増加している。

○物価高による節約志向が引き続きみられるなか、食料品の値上げ幅を抑えていることや、販売促進を強化していることから、来店客数が増加している。

(ドラッグストア)

○ペット用品が堅調となっている一方で、気温が高く推移したことから灯油が低調となった。

○インテリアやDIY用品等は、生活必需品ではないことから、物価高による買い控えがみられる。

(ホームセンター)

○パソコンやテレビは、巣ごもり需要の反動等により、低調が続いている。

○消費者の関心が旅行等に移っていることや、物価高により家電購入の優先順位が落ちていることなどから、来店客数が減少している。

(家電)

○自動車の生産台数が増加していることから、納期の長期化が緩和され、受注残の納車が進んでいる。

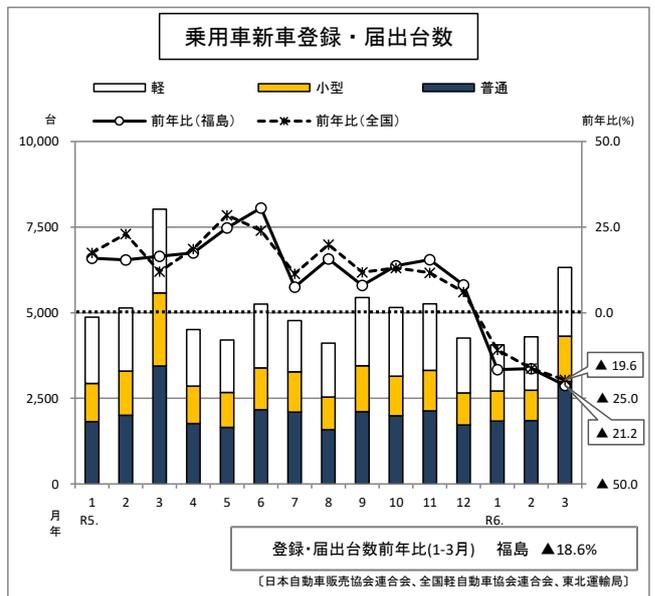
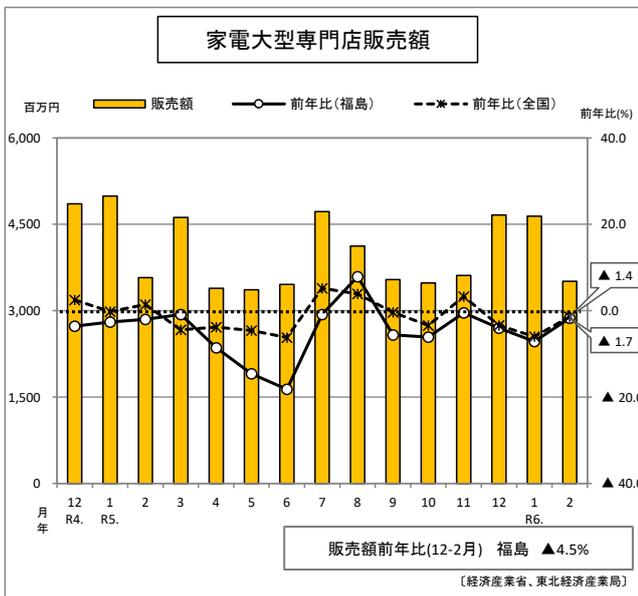
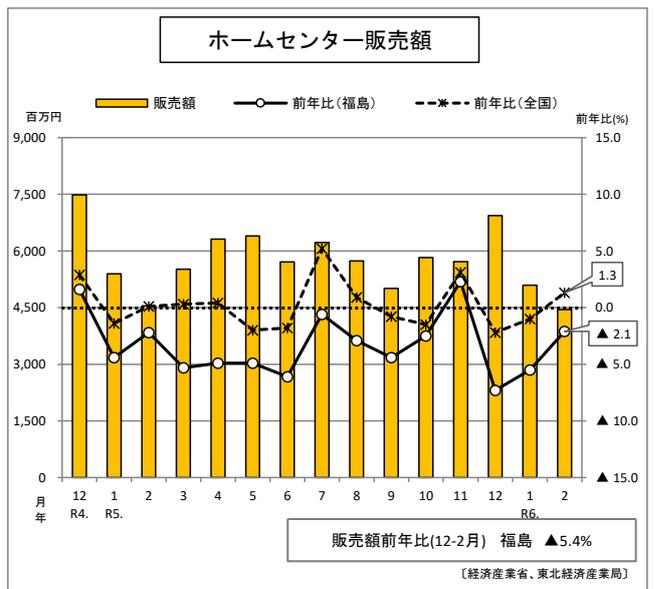
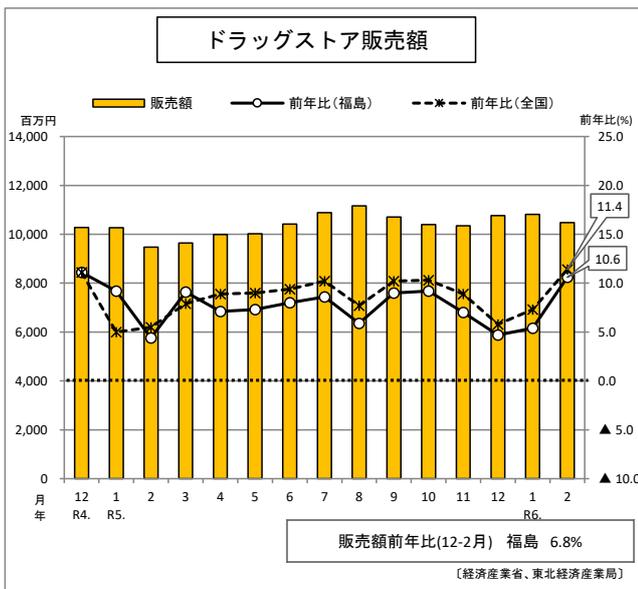
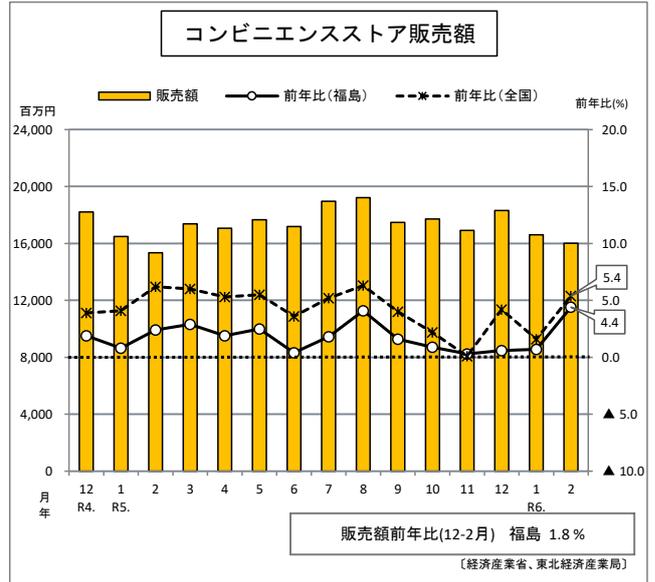
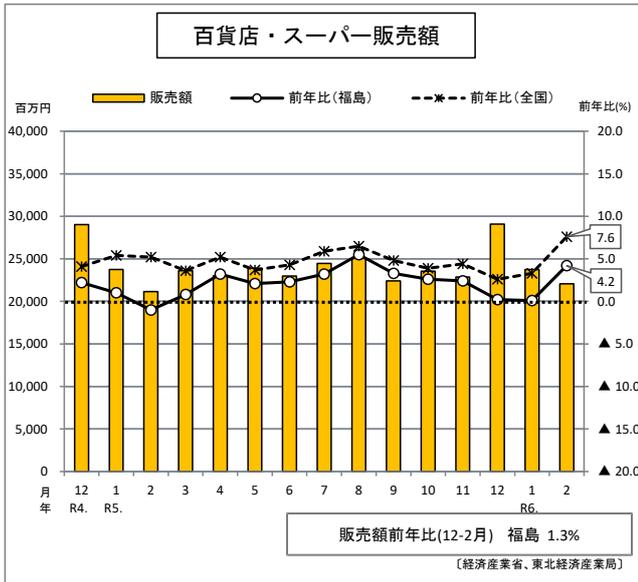
○一部自動車メーカーの出荷停止の影響により、一時的に販売台数の減少がみられた。

(自動車販売)

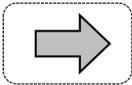
○国内旅行では旅行意欲の高い状況が続いているほか、アジアを中心に海外旅行にも動きがみられる。

○物価高により旅行代金が値上がりしているものの、旅行控えはなく、料理等にこだわった高価格帯の旅館の予約も好調となっている。

(旅行)



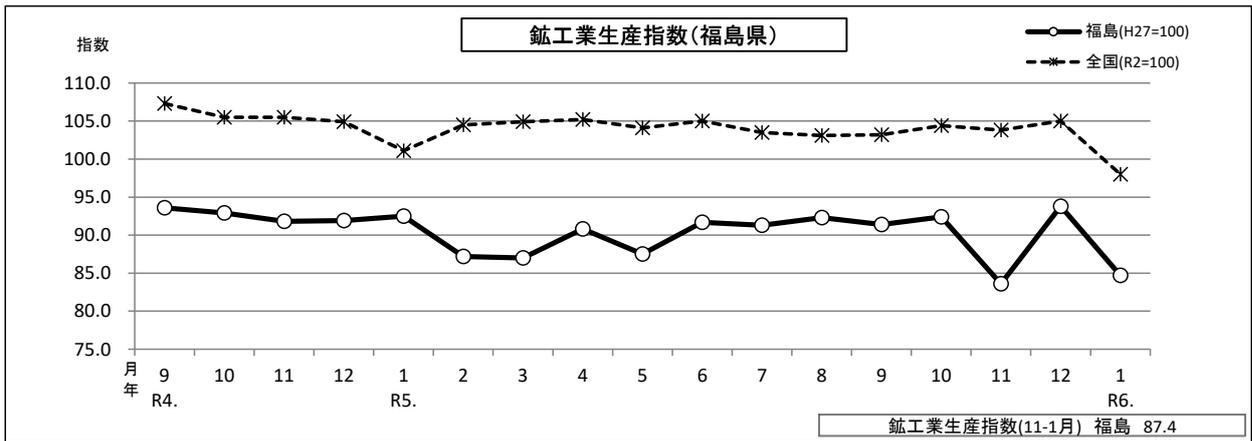
### 3. 生産活動 … 一進一退の状況にある



- (1) 汎用・生産用・業務用機械は、海外経済の減速等の影響により、一進一退の状況にある。
- (2) 輸送機械は、一部自動車メーカーの生産停止の影響がみられるものの、供給制約の改善等により緩やかに回復しつつある。
- (3) 化学は、電気自動車需要の落ち着きなどにより、減少している。
- (4) 情報通信機械は、車載向けで動きがみられることから、緩やかに持ち直しつつある。
- (5) 電子部品・デバイスは、スマートフォンやパソコン向けが低調となっていることから、弱含んでいる。

#### ～ 〈参考〉 生産活動に関する地域の声 ～

- 中国における幅広い業種での設備投資需要の落ち込みから、生産用機械向けの受注は低調が続いている。  
(汎用・生産用・業務用機械)
- 半導体等の供給制約は改善しており、北米向けを中心に受注が堅調となっているほか、受注残もあることから、高い工場稼働率を維持しながら生産を続けている。
- 一部自動車メーカーの生産停止の影響により受注に落ち込みがみられたものの、足下では回復している。  
(輸送機械)
- 電気自動車向けは、中国や欧州での需要に一服感がみられることから、受注が減少している。  
(化学)
- 車載向けは、海外経済の減速等の影響による取引先の在庫調整が一巡し、足下で持ち直しの動きがみられている。  
(情報通信機械)
- スマートフォンやパソコン向けは、買い替えサイクルの長期化等により取引先の在庫調整が長引いている。
- データセンター向けは、生成AI関連の需要の増加を受けて受注が増加している。  
(電子部品・デバイス)

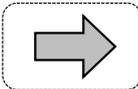


鉱工業生産指数(福島県、季節調整済、H27=100)

区分	総合 (Wt=10,000)		汎用・生産用・ 業務用機械	輸送機械	化学	情報通信 機械	電子部品 ・デバイス
	指数	前年比%	1,353.9	1,170.5	1,101.7	932.6	885.6
5年	90.2	1.2	85.9	114.3	124.5	43.6	96.6
5. 1-3	88.9	-	84.1	95.3	123.9	49.0	92.5
4-6	90.0	-	86.6	111.5	124.5	42.5	102.6
7-9	91.7	-	85.7	123.7	126.9	44.7	96.7
10-12	89.9	-	85.9	125.5	123.8	42.6	95.2
5. 8	92.3	0.8	91.4	119.5	127.6	46.2	95.8
9	91.4	▲ 2.4	84.0	125.7	127.0	33.1	96.6
10	92.4	▲ 1.3	82.3	137.4	129.1	39.1	100.2
11	83.6	▲ 8.9	85.9	108.0	102.8	41.6	92.2
12	93.8	▲ 0.2	89.4	131.0	139.4	47.2	93.2
6. 1	84.7	▲ 6.6	67.2	121.4	110.5	51.9	86.8
5. 8-10	92.0	-	85.9	127.5	127.9	39.5	97.5
5. 11-6. 1	87.4	-	80.8	120.1	117.6	46.9	90.7

(注) 1. 前年比は原指数。  
 2. 最終月は速報値。  
 3. 全国の5年分は年間補正後。  
 4. 5. 8-10、5. 11-6. 1は今回の分析上参考とした期間。  
 [経済産業省、福島県]

#### 4. 雇用情勢 … 一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している

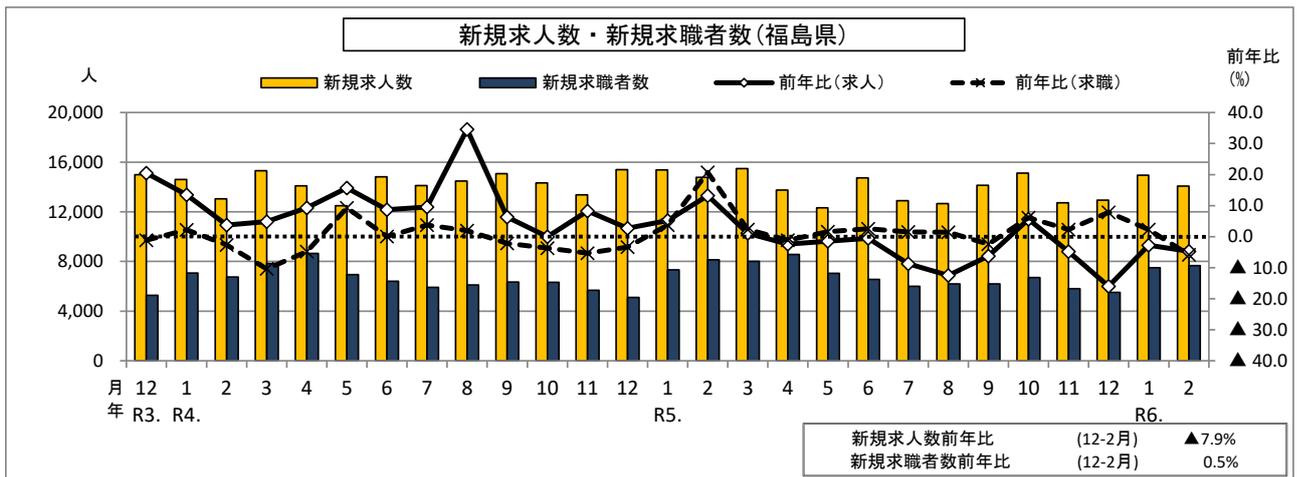
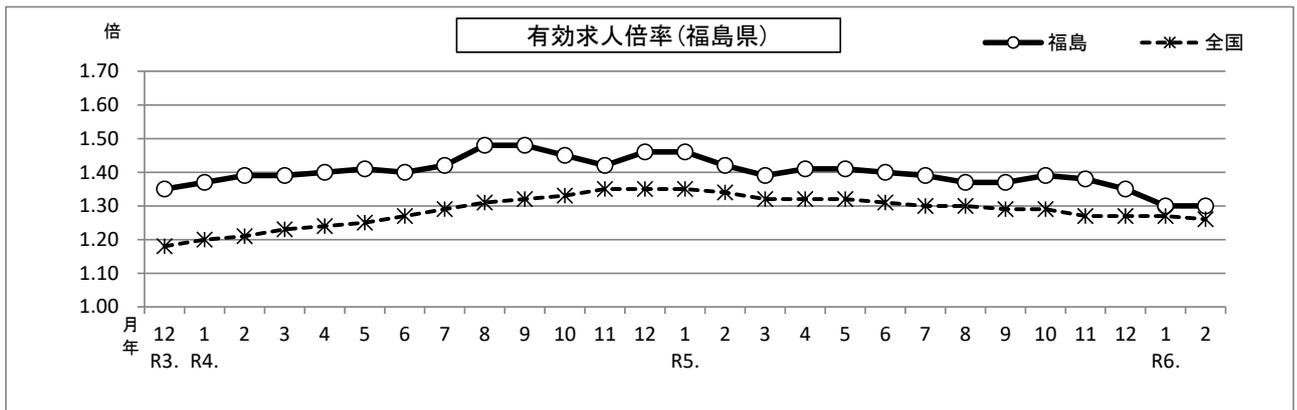


- (1) 有効求人倍率は、横ばいとなっている。
- (2) 新規求人数は、小売業、飲食サービス業等で減少していることから、前年を下回っている。
- (3) 新規求職者数は、前年を上回っている。
- (4) 事業主都合離職者数は、前年を上回っている。
- (5) 雇用保険受給者実人員は、前年を上回っている。

～ 〈参考〉 ～

○昨年大口求人がみられた反動や物価高騰を背景とする求人控えがみられ、新規求人数は減少しているものの、人手不足は継続しており企業の求人意欲は高い状況となっている。 (公的機関)

○労働時間規制への対応に伴う輸送量の減少や、燃料費等の高騰により業績が悪化しているため、ドライバーを増員したくてもできない状況となっている。 (非製造業)

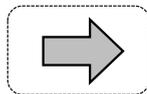


雇用状況(福島県)

区分	有効求人倍率 (季節調整済) 倍	新規求人数		新規求職者数		事業主都合 離職者数		雇用保険 受給者実人員	
		人	前年比%	人	前年比%	人	前年比%	人	前年比%
5 年	1.39	13,907	▲ 2.5	6,838	3.7	5,543	7.3	6,031	▲ 3.0
5. 1-3	1.42	15,206	▲ 6.2	7,827	8.5	1,127	▲ 6.6	5,484	▲ 6.3
4-6	1.41	13,600	▲ 1.5	7,391	0.8	2,026	▲ 7.7	5,914	▲ 3.9
7-9	1.38	13,228	▲ 9.1	6,130	0.1	1,014	▲ 6.6	6,642	▲ 4.4
10-12	1.37	13,593	▲ 5.3	6,003	5.3	1,376	38.6	6,083	2.7
5. 9	1.37	14,129	▲ 6.3	r 6,192	▲ 2.4	356	0.6	6,424	▲ 4.6
10	1.39	15,122	▲ 5.6	6,697	6.1	558	49.6	6,441	3.3
11	1.38	12,720	▲ 4.8	5,813	2.3	427	23.8	6,140	3.6
12	1.35	12,938	▲ 16.0	5,500	7.8	391	42.2	5,668	1.1
6. 1	1.30	14,948	▲ 2.8	7,504	2.3	428	▲ 10.1	5,767	2.4
2	1.30	14,075	▲ 4.7	7,660	▲ 5.8	377	50.2	5,661	4.4
5. 12-6. 2	-	13,987	▲ 7.9	6,888	0.5	1,196	19.4	5,699	2.6

(注) 1. 新規求人数・新規求職者数は原数値。 [厚生労働省]  
 2. 雇用保険受給者実人員は基本手当(延長給付を除く)。  
 3. 5年12月以前の有効求人倍率は改定値。  
 4. 5. 12-6. 2は今回の分析上参考とした期間。  
 5. rは前回報告以降、公表元において訂正があったもの。

## 5. 設備投資 … 5年度は減少見込み



法人企業景気予測調査（6年1-3月期調査）でみると、5年度は、製造業で増加見込みとなっているものの、非製造業で減少見込みとなっていることから、全産業では減少見込みとなっている。

6年度計画は、製造業で減少見通しとなっているものの、非製造業で増加見通しとなっていることから、全産業では増加見通しとなっている。

### 設備投資

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	5 年 度	( ▲ 4.9 )	6.3	( ▲ 5.1 )	▲ 9.6	( ▲ 5.1 )
6 年 度		▲ 0.9		35.4		27.8

(注)1. ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

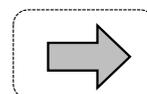
2. ( )書きは前回調査結果。

3. 集計企業数は、5年度 105社(うち製造業27社、非製造業78社)

6年度 88社(うち製造業24社、非製造業64社)

[福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(6年1-3月期調査)」]

## 6. 企業収益 … 5年度は増益見込み



法人企業景気予測調査（6年1-3月期調査）でみると、5年度は、非製造業で減益見込みとなっているものの、製造業で増益見込みとなっていることから、全産業では増益見込みとなっている。

6年度は、製造業、非製造業とも増益見通しとなっている。

### 経常利益

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	5 年 度	( 10.7 )	4.2	( ▲ 1.9 )	▲ 0.4	( 4.0 )
6 年 度		13.5		0.6		7.9

(注)1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数。

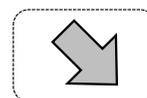
2. ( )書きは前回調査結果。

3. 集計企業数は、5年度 88社(うち製造業27社、非製造業61社)

6年度 75社(うち製造業24社、非製造業51社)

[福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(6年1-3月期調査)」]

7. 企業の景況感 … 現状は「下降」超に転じている  
 先行きは6年4～6月期に「均衡」となり、  
 6年7～9月期に「上昇」超となる見通し



法人企業景気予測調査(6年1-3月期調査)の企業の景況判断BSIで見ると、現状(1~3月)は、全産業では「下降」超に転じている。  
 先行きは、全産業では6年4~6月期に「均衡」となり、6年7~9月期に「上昇」超となる見通しとなっている。

企業の景況判断BSI【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:%ポイント)

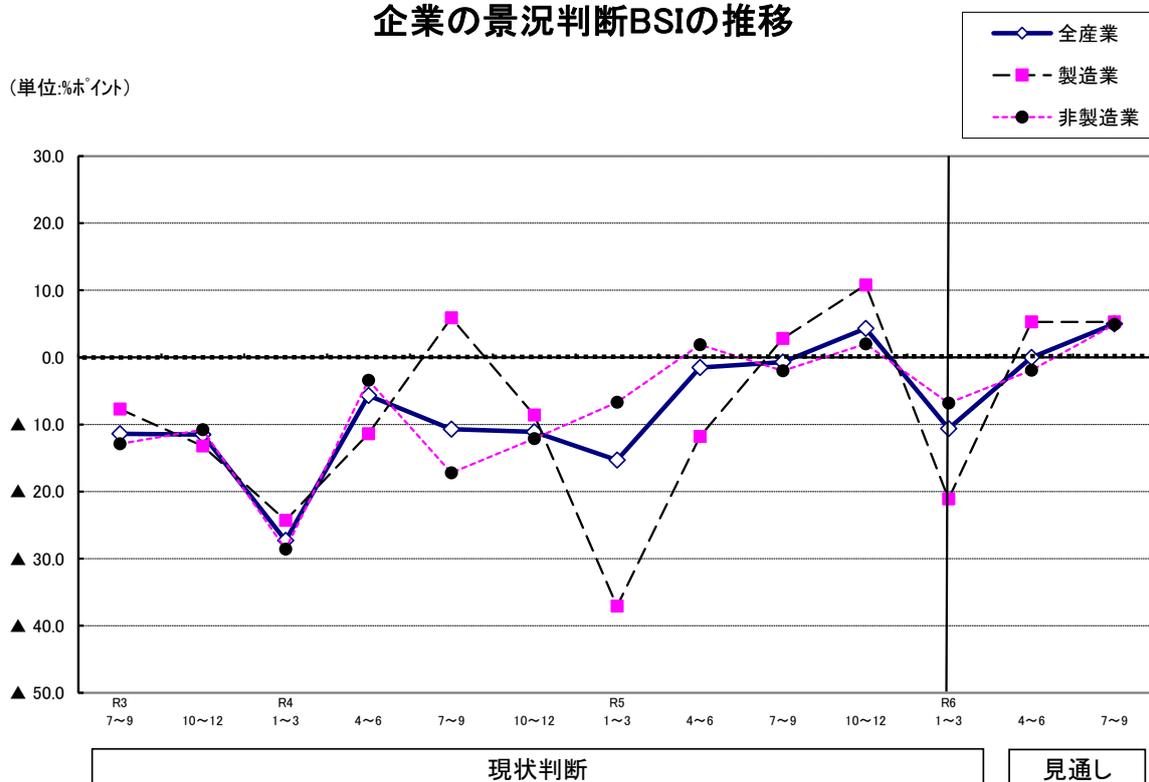
区 分	5年10~12月 (5年10-12月期調査)	6年1~3月 現 状 判 断		6年4~6月 見 通 し		6年7~9月 見 通 し
全 産 業	( 4.3 )	( ▲ 2.9 )	▲ 10.6	( 4.3 )	0.0	5.0
製 造 業	( 10.8 )	( 0.0 )	▲ 21.1	( 0.0 )	5.3	5.3
非 製 造 業	( 2.0 )	( ▲ 4.0 )	▲ 6.8	( 5.9 )	▲ 1.9	4.9

(注) ( ) 書きは前回調査結果。

[福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(6年1-3月期調査)」]

企業の景況判断BSIの推移

(単位:%ポイント)



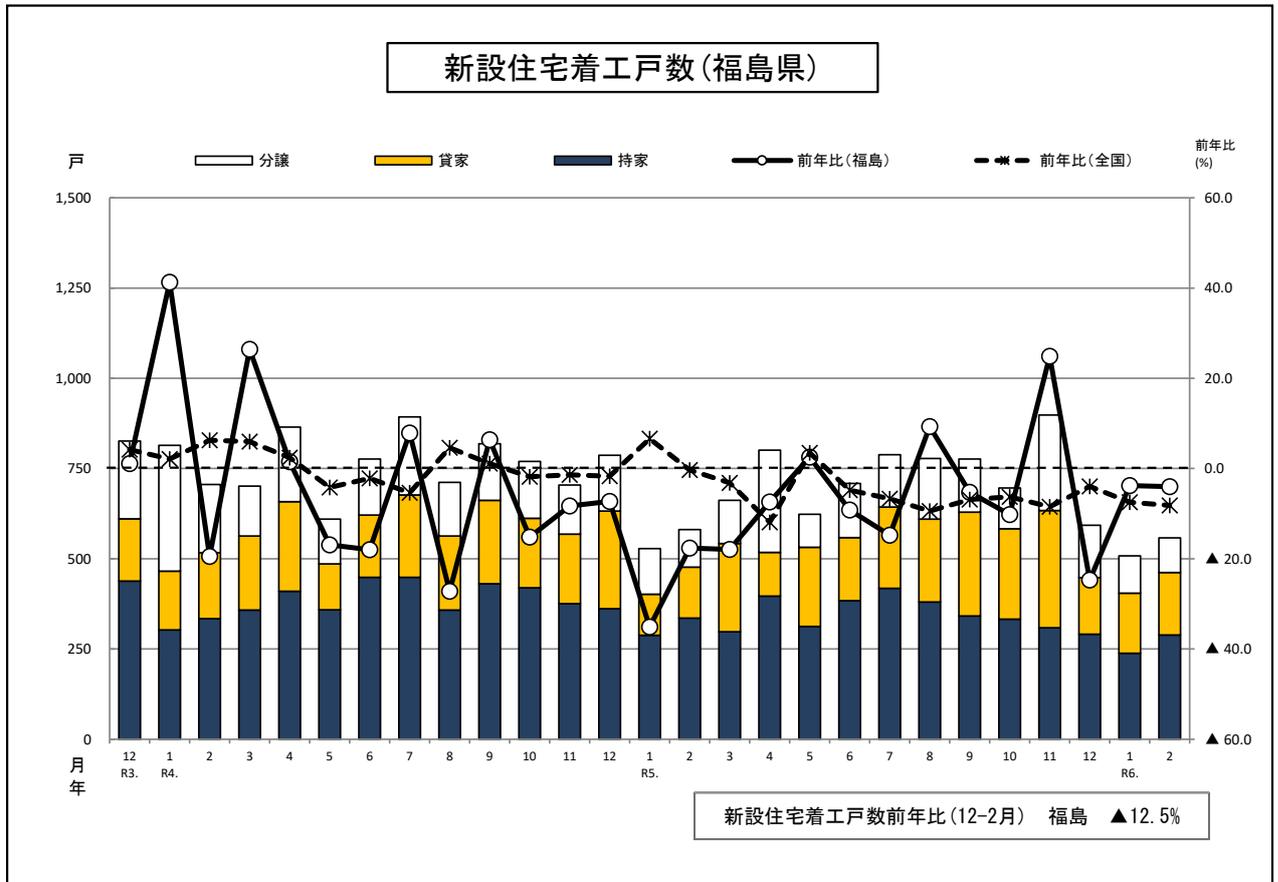
BSI (Business Survey Index) の計算法

$$*BSI = (\text{「上昇」と回答した企業の構成比}) - (\text{「下降」と回答した企業の構成比})$$

## 8. 住宅建設 … 前年を下回っている



新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家、分譲いずれも前年を下回っている。



新設住宅着工戸数(福島県)

区 分	総戸数		持家	貸家	分譲
	戸	前年比%			
5 年	8,444	▲ 9.5	▲ 11.3	3.0	▲ 12.9
5. 1-3	1,776	▲ 23.8	▲ 7.3	▲ 9.4	▲ 48.1
4-6	2,135	▲ 5.4	▲ 10.2	▲ 5.9	7.8
7-9	2,344	▲ 4.6	▲ 7.9	11.7	▲ 11.9
10-12	2,189	▲ 4.2	▲ 19.4	11.9	16.3
5. 9	777	▲ 5.2	▲ 20.6	24.2	▲ 6.4
10	696	▲ 10.2	▲ 20.7	30.2	▲ 28.5
11	898	24.9	▲ 17.8	69.3	94.1
12	595	▲ 24.7	▲ 19.6	▲ 41.9	▲ 6.5
6. 1	510	▲ 3.8	▲ 17.4	46.5	▲ 18.3
2	559	▲ 4.0	▲ 14.0	22.7	▲ 7.7
5.12-6.2	1,664	▲ 12.5	▲ 17.0	▲ 5.3	▲ 10.6

(注)5.12-6.2は今回の分析上参考とした期間。

[国土交通省]

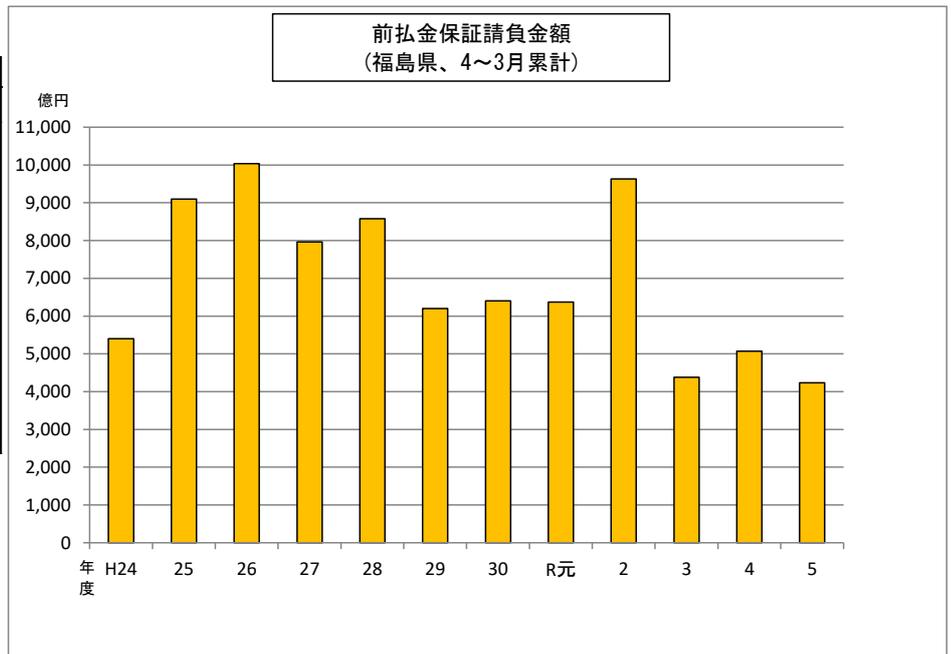
## 9. その他項目

### (1) 公共事業

公共工事前払金保証請負金額(累計)で見ると、前年度を下回っている

前払金保証請負金額 (福島県、4~3月累計)		
区 分	前払金保証請負金額	
	億 円	前年同月比%
24 年度	5,398	116.7
25 年度	9,099	68.6
26 年度	10,037	10.3
27 年度	7,962	▲ 20.7
28 年度	8,578	7.7
29 年度	6,203	▲ 27.7
30 年度	6,403	3.2
元 年度	6,370	▲ 0.5
2 年度	9,629	51.2
3 年度	4,378	▲ 54.5
4 年度	5,073	15.9
5 年度	4,232	▲ 16.6

(注) 国、独立行政法人等、県、市町村等の合計。  
〔東日本建設業保証(株)ほか〕

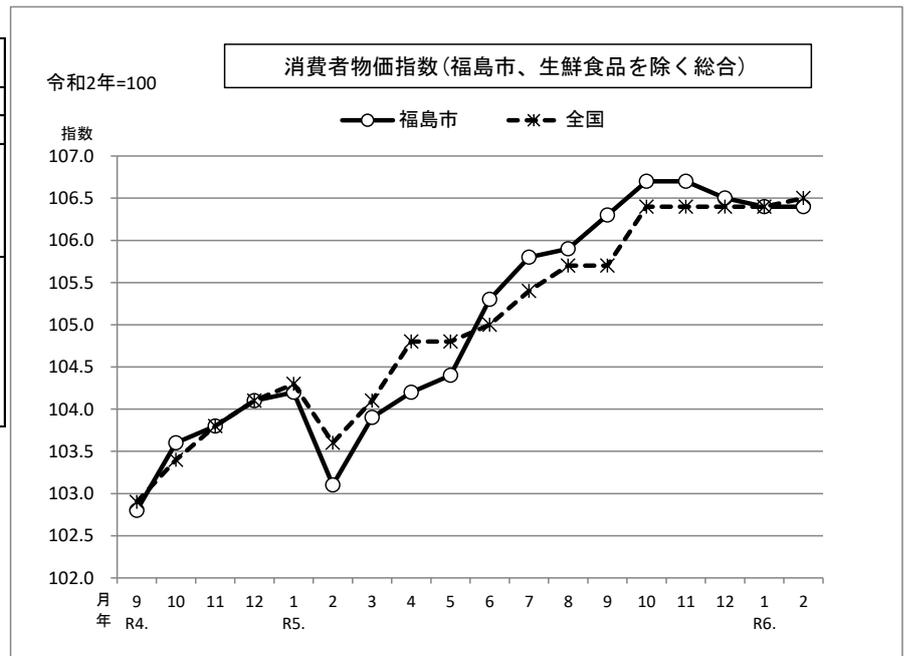


### (2) 消費者物価指数

消費者物価(生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている

消費者物価 (令和2年=100)			
区 分		福 島 市	
		生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	指 数
		指 数	前年比%
5 年		105.3	3.1
5.	1-3	103.7	3.3
	4-6	104.6	3.0
	7-9	106.0	3.4
	10-12	106.6	2.7
5.	9	106.3	3.3
	10	106.7	3.0
	11	106.7	2.8
	12	106.5	2.3
6.	1	106.4	2.2
	2	106.4	3.2

〔総務省〕



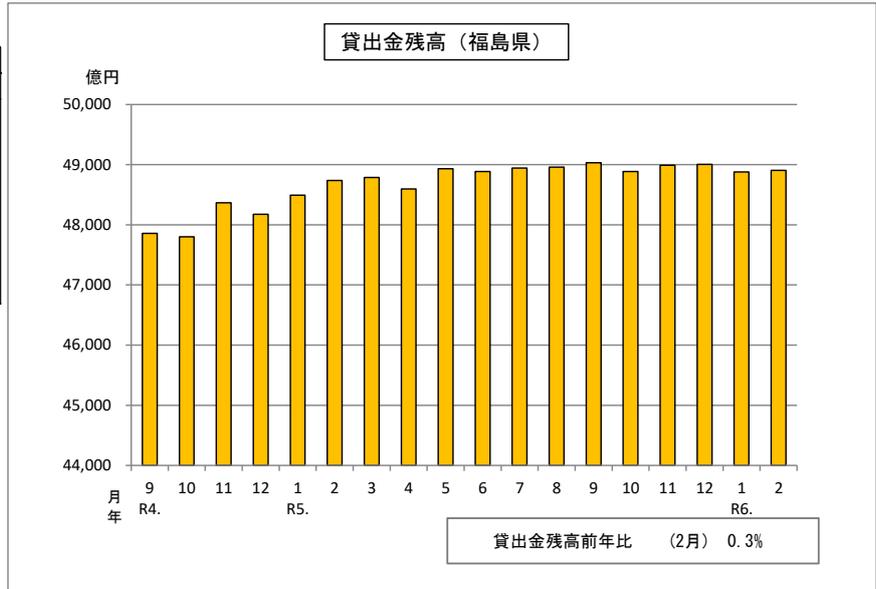
(3) 金融状況

県内民間金融機関の貸出金残高でみると、前年を上回っている

貸出金残高(福島県)

区分	貸出金	
	件数	月末残高(億円)
5.	7	48,942
	8	48,960
	9	49,030
	10	48,888
	11	48,989
6.	12	49,004
	1	48,877
	2	48,904

(注)13銀行(県内店舗分)、8信金(金店分)ベース  
 なお、銀行については、オフショア勘定及び  
 中央政府向け貸出を除く。  
 【日本銀行福島支店】



(4) 企業倒産

件数、負債総額とも前年を上回っている

企業倒産件数・負債総額(福島県)

区分	件数		負債総額		
	件	前年比%	百万円	前年比%	
5 年	80	21.2	13,526	8.4	
5.	4-6	22	69.2	4,118	111.2
	7-9	14	▲ 6.7	1,340	▲ 60.3
	10-12	26	23.8	4,247	▲ 5.6
6. 1-3	30	66.7	4,714	23.4	
5.	10	6	▲ 40.0	898	▲ 17.8
	11	6	0.0	733	▲ 73.2
	12	14	180.0	2,616	291.6
6.	1	8	300.0	1,678	519.2
	2	12	20.0	1,289	▲ 60.5
	3	10	66.7	1,747	513.0

〔株〕東京商工リサーチ

